

# 「アニメ進化論」

# 日本の実験アニメの現在」

1988年4月29日(金・祝)→5月25日(水) ●入館料:一般500(400)円/高・大生800(200)円/小・中生100(50)円  
( )内は20名以上の団体割引料金

●開館時間:10:00A.M.→6:30P.M. [但し入館は6:00P.M.まで] ●休館日:5月6、12、19日  
主催/会場:(財)品川文化振興事業団 才一美術館

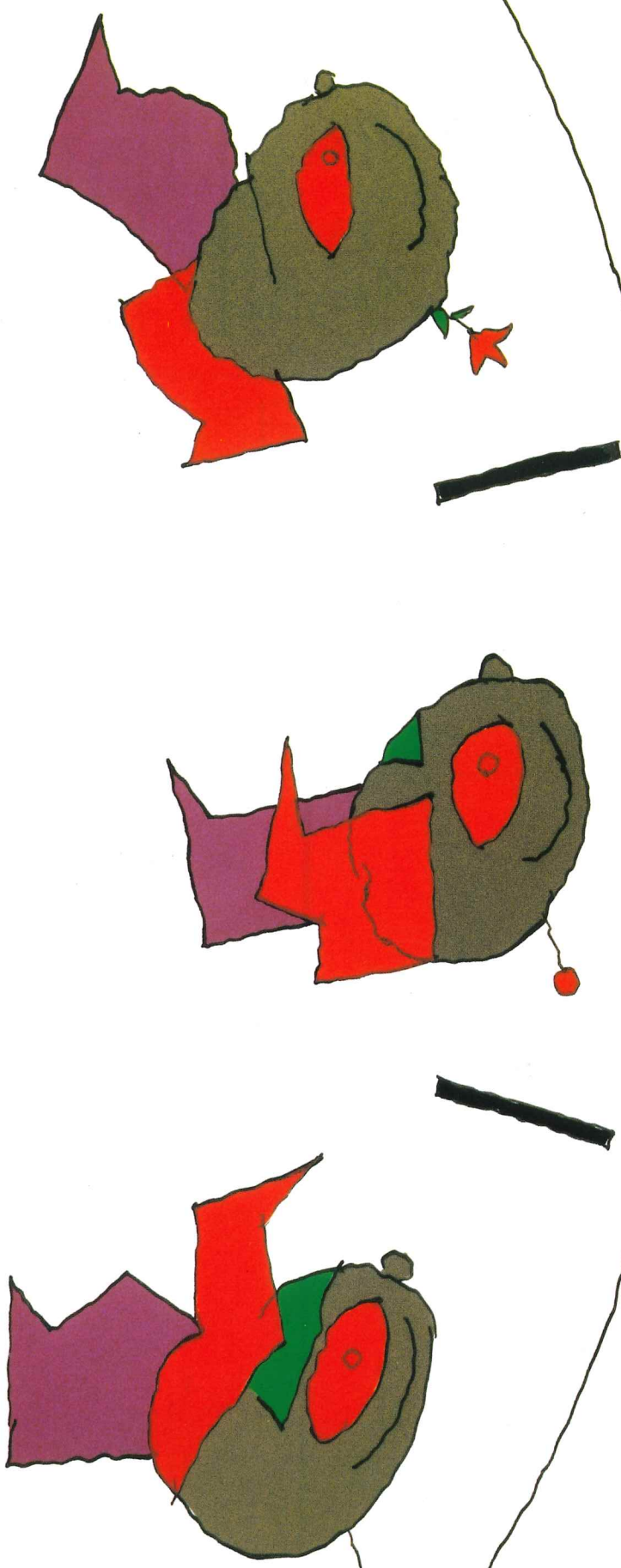
## ○美術館

協賛: NEC日本電気グループ  
Bundbund Japan  
株式会社プロダクション・アーツ

◎展示部門  
IKIF  
岩井俊雄  
黒坂圭太  
土佐尚子  
古川タク  
峰岸恵一

◎上映会  
《個人プログラム》  
IKIF  
相原信洋  
浅野優子  
伊藤高志  
久里洋二  
黒坂圭太  
居田伊佐雄  
田名網敬一  
手塚治虫  
古川タク  
峰岸恵一

《テーマ別プログラム》  
A: 動くドローイング  
B: 動くドローイングの 抽象・平面・運動  
C: 素材との対話  
D: 境界領域のアニメ1 フォリムとアニメ  
E: 境界領域のアニメ2 写真とアニメ  
F: アニメートされた日常・実写の試み  
G: アニメの実験の系譜  
H: コンピュータとアニメ  
●シンポジウム  
「アニメのメディアと表現——日本のアニメの現在と未来」  
5月8日(日) 2:00P.M.  
西嶋憲生 (司会)/松本俊夫/古川タク/岩井俊雄  
●「アニメーション “アニメーション紙しばい”  
5月1日(日) 1:00、3:30P.M.  
(隣岸恵一)  
●アニメーション/ビデオ・ダンス “+&-”  
5月15日(日) 3:30、6:00P.M.  
演出・映像: 土佐尚子/音楽: 森本浩正  
ビデオ・ダンス: 平岩佐和子



現在、日本のアニメ界は、全体として、自問的な環境におかれおり、そのことが現在のアニメの危機を招いていると考えられます。

本展では、セル画アニメに限定せず、コア取りアニメ等をも含めた広義でのアニメのうちで、特にそのアニメのクリエイティブ自体の特性に自覚的に従来取組んできた作家に、そのアニメの閉塞感を打破するためにあえてアニメというメディアの存在を揺さぶってもらうことを目的としています。そのため一つには音・光・ビデオ・パソコンなどの様々な技術的なジャンルとの競演によるインターメディア的な試みや、インターネット上の展示等を通じて6組の作家たちにアニメ以外のメディアとの競合、もしくは差異の再認を行ってもらいます。また、上掲会では1人の代表的なアニメ作家が自選のプログラムを組むとともに、テーマ別プログラムでは、特に80年代の8ミリ作品を中心に、様々な拡大してゆくアニメーションの現状を、広く紹介いたします。このようにアニメ自体が自己の存在理由を確認するために、あえて他領域へと越境しようとするにより、または原形的なものに立ち返ることによって、あらためてアニメの表現の豊かさの拡大と回復を願うものです。

●テーマ別プログラム

(A)：動くトロロイソグナ

- モノクロ 「恋の黙示」
- 乙姫聖子 「Impersonation」
- 横須賀光子 「クローサーのなる水」
- 「もうなんじやわいわわ」
- 「人魚」
- 「キニヨール」
- 「至福色の街」
- 「IMAGE(心象)4」
- 「かげ1+approach」
- 「モスウ」
- 「秒時計」

(B)：動くトロロイソグナ2 抽象・平面・運動

- 広瀬忠司 「10」
- 坂部隆 「SPIN」
- 構造美学研究所 「PUNKT」
- (小出庄志) 「1231981.1.2」
- 「VISUAL FIELD 1981」
- 「PROKKAQUISM」
- 「VARIMATION」
- 「キネマノリ」
- 「変光鏡No.1」
- 「Lunatic」
- 「KINEMA COLOR」
- 「どう?」
- 「VISAナイン」

(C)：素材との対話

- 瀬尾隆三 「セロックス・フィルム」
- 手塚眞 「MODEL」
- やまむら浩二 「博覧会」
- 石田幸也 「ラズル(ガラス・ツクリモノ)」
- 「クニニビルでんぐりん(モノ・アニメ)」
- 「ドーナツ・キヤラ」
- 「はうほうでん、ZU」
- 「flockin' Dreaming」
- 「きんかせとたいまつ」
- 「雪舟船(ふゆつらふ) (砂・アニメ)」
- 「冬祭行(ふゆつらふ)」
- 「暖房(わひまおん)」
- 「BLUE CAMISOLE」
- 「DIM」

(D)：境界領域のアニメ1 フェイルドアニメ

- 新藤兼美 「パイプライン」
- 奥山博夫 「LE CINEMA(映画)」
- 「アート・ソング」
- 「映画聖堂」
- 「フェイルド・フィニッシュ」
- 「クワクス」
- 「スクラップ・フィルム」
- 「クリティック・プロセス」
- 「戦いの太陽系」
- 「A DAY」

(E)：境界領域のアニメ2 写真とアニメ

- 糸田豊一 「Still Movie」
- 真田(に)えむ 英語「RING」
- 「記念写真」
- 「FRICION」
- 「写真を動かす」
- 「クローラ」
- 「NEW IMPERSONATION」

(F)：アニメートされた日常・実写の試み

- かわなかの3びろ「クワン・スター」
- 「10-RROOM」
- 石田純雄 「Cat-a-togue」
- 「1いちご一密カラス篇」
- 「いちご一休みの日に…篇」
- 「アニメーション百科」
- 「夏休み映画日記」
- 「YELLOW YELLOW」
- 「Waiting for...」
- 「ネコをめぐるものかたど」
- 「ムーソナイト」

(G)：アニメの実験的承継

- クラックグループ「キネ・カリグラフィ」(復元版)
- 石元泰博・大江清弘・辻彩子 「COMPLEX」
- 「悲しい贈るカワツに集って」
- 「白い霧」
- 「殺人」
- 「密い相手意識劇」(ちかちやまめおとのまじみち)
- 「風船の技法」
- 「幻彩都市」
- 「かみ」
- 「10月13日の殺人」
- 「冤恋歌」

(H)：コンピュータとアニメ

- 古川タク 「アップ・サム・ドゥービー」
- 「リネ・シタズ」
- 「D-FIELD」
- 「2+1(Ino plus one)」
- 「SNOW PIXEL」
- 「CUBISM-1」
- 「オラジマ」

●事例によりプログラムが変更されることもあります。

○美術館のご案内



- 交通 山手線大塚駅(東口)下車徒歩1分
- 東急バス(大井町線)・渋谷駅大塚駅下車徒歩1分
- 駐車場 美術館専用駐車場はございません。
- お車で来館の場合、「大塚ニューシティ」地下2階の駐車場(有料)をご利用下さい。

(財)品川文化振興事業団

○美術館

オ一美術館：山手線大塚駅東口下車徒歩1分  
東京都品川区大塚1-6-2大塚ニューシティ2号館 TEL.495-4040

●上映日程

4/29(祝)	(G)	11:30A.M.~2:00P.M.~	4:30P.M.~	(A)	相原滄洋
30土	★★★	黒坂圭太	(B)		
5/1日	(D)	○ 峠岸恵一	○ 田名綱敬一	(F)	
2月	(C)	浅野優子	(E)	伊藤高志	
3火・祝		居田伊佐雄	(A)		
4水・祝		手塚治虫	古川タク		
5木・祝	(H)	手塚治虫	館—		
6金	—(休)				
7土	相原滄洋	(B)	手塚治虫		
8日	古川タク	2:00P.M.~3:30P.M.	居田伊佐雄		
9月	—	田名綱敬一	黒坂圭太		
10火	—	(E)	(C)		
11水	—	(H)	館—		
12木	—(休)				
13金	—	峠岸恵一	(E)		
14土	★★★	伊藤高志	(D)		
15日	田名綱敬一*	(G)	* 久里洋二		
16月	—	(A)	浅野優子		
17火	—	(B)	居田伊佐雄		
18水	—	(F)	(C)		
19木	—(休)	館—			
20金	—	久里洋二	(H)		
21土	相原滄洋	浅野優子	KIF		
22日	KIF	KIF	峠岸恵一		
23月	—	古川タク	(G)		
24火	—	(F)	伊藤高志		
25水	—	(D)	黒坂圭太		

◎峠岸恵一「パソコン」

- 1:00P.M.~ 3:30P.M.~
- \*土佐尚子アニメーションパソコン
- 3:00P.M.~ 6:00P.M.~

★★★海外アニメ参考上映

- (A)~(H)……テーマ別プログラム(各3回)
- 浅野優子……個人プログラム(各3回)